

ワークショップシリーズ ブレーシングウォール

仕様説明書

1:工事前の 接地位置の地域性(地盤特性:積雪量と多雪地域の確認、標準風速(v_o))を調査の上必要な構造計算を行い、安全を確認してください。木構造部の積雪仕様は各図面を参照してください。

2:構造方法: 木造枠組み壁工法とし、国土交通省 告示1540号(平成20年8月11日)及び 国土交通省1541号(平成30年3月26日)およびその他法律により施工、せん断力は筋交いによる負担とします。あらかじめトラスプレートで組み合わせた「筋交いユニット」の水平方向と垂直方向に伸びた部材は枠材に対してタイト にはめ込むための延長部分なので切断調整し、釘で周辺の部材に緊結します。開口部のまぐさは告示1540-5-13ただし書き(屋根水平構面)によります。

3:張壁(ABSCO KITパネルの固定) ABSCOによるガルバリウム鋼板は屋根葺き材及び張壁とします。上記パネルの組立マニュアルを参照しながらスナップタイトにより 鋼板の剛性を高めたパネルを組み合わせて組み立て、あらかじめ組立た木構造フレーム材に沿って設置組み立てを行います。標準風速(v_o)(建設省告示第1454号)で風速36m/sec以下を 張壁の耐力の目安としています。ただし、開口部については上記を満足しないので、遮蔽物などを考慮して強風時の対策について使用者とドアの方向を含め 十分協議して下さい。

屋根部分:屋根下地木材見付幅89mm部分および屋根軒端のコロビ止材- 見付幅38mmにステンキップ木下地用ハイ&ロー6950PZM(若井産業 相当品)を148mmで設置

壁:木ネジD5L20mm以上のタップスクリューを使用します。全ての間柱材 には上下方向に5箇所、胴縁材には@148mmに設置します。

4:基礎 建築基準法施工令38条-4および建設省告示1347(平成12年5月23日)によります。構造計算に基づき床版の鉄筋量などを定義して下さい。

5:アンカーボルトは告示1540第10-2の構造計算によります。直径10mmの寸切ボルトとし、有効長さ180mm以上とします。ただし標準風速 (V_o) 30などが大きい場合は確認・再検討が必要です。

4523WK2・4523HK2は先打ちアンカーを推奨しますが、後打ちアンカーも可とします。

年 月 日

ご署名

印